

I. 設計条件

この課題は、ある地方都市の公園北側の敷地にコミュニティ施設機能及び児童図書室を併設した図書館を計画するものである。「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に規定する「建築物移動等円滑化誘導基準」を満たす計画とする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、「敷地図」とおりである。
- 敷地は道路及び隣地との相互間に高低差はない。公園側からのアプローチに配慮する。また歩道の切り開きは1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は90%(特定行政庁が指定した角地にある敷地及び準防火地域における耐火建築物等を含む)、容積率の限度は300%である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ち等の必要はない。
- 水害、日影及び積雪の配慮はしなくてよい。

2. 建築物

- 構造、階数等
構造形式は自由とし、地上3階地下1階建ての耐火建築物とする。
- 床面積の合計
地階を除く床面積の合計は、2,800m²以上3,200m²以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。なお、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(集会スペース、駐車場、設備スペース等)については、床面積に算入するものとする。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

調	室名	特記事項	面積
図書館部門	図書室	貸出カウンター、図書事務室、BDSを設ける。 この課題ではレイアウトは任意とする。*1	750m ² 以上
	児童図書室	貸出カウンター、児童図書事務室、BDSを設ける。 この課題ではレイアウトは任意とする。*2	300m ² 以上
	ブックモービル車庫	1階に設け、ブックモービル(移動図書館車)の積み込み車庫とする。 出入口にはシャッターを設ける。	約40m ²
	ブックモービル車庫	ブックモービル車庫に隣接して設ける。 サービスエレベーターとの動線に配慮する。	約20m ²
	大ホール	無柱空間とし、天井高さを3m以上とする。	約160m ²
	ロビー	大ホール用に設ける。	適宜
	ワークルーム	児童図書室のイベントにも用いる。	計120m ² 以上
	会議室 ABCD	同一面積の室を2室設ける。	計280m ² 以上
	エントランスホール	風除室を設ける。 ラウンジ(20m ² 以上)を設ける。 3層吹抜け(面積適宜)及びトップライト(3m ² 以上)を設ける。	適宜
	レストラン	厨房、客席を設ける。客席から使えるデッキスペースを設ける。 公園からのアプローチを設ける。	約100m ²
事務室	8m ² /人程度とし7人程度が利用する。 エントランスホールに面して案内カウンターを設ける。	適宜	
便所	*男、女、多機能トイレ(オストメイト対応)を各階に設け便器、洗面等をレイアウトする。		
設備スペース	*必要に応じて室外機、電気設備を設置する。 *機器のメンテナンスに配慮した配置とする。 *その他、採用した設備計画に応じて計画する。		

*上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。

*1:開架書架、テーブル、椅子、キャブレ、ブラウジングコーナー、レファレンスコーナー等
*2:開架書架、テーブル、イス、読み聞かせコーナー、展示コーナー等

3. その他の施設等

- 駐車場は平面駐車場とし、車いす利用者として1台分以上、一般利用者用として1台、管理・サービス用として1台分以上合計3台分以上を設ける。
- レストランから利用できるデッキスペース(面積25m²以上としひさし下部は含んでよい)を設ける。
- 駐輪場は1台2.0mx0.5m程度とし、30台分以上を設ける。

4. 留意事項

- 建築計画、構造計画及び設備計画については、次の点に留意して計画する。
- 建築物はバリアフリー、セキュリティ、省エネルギー、二酸化炭素排出削減に配慮する。
 - 利用者の当該敷地へのアプローチは、利用者の利便性に配慮する。また各部門は利用形態に応じて適切に計画する。
 - 敷地条件(方位等)や周辺環境に配慮するとともに、空調負荷の抑制や自然光の利用、日射遮蔽及び通風等を用いて、建築環境負荷低減に配慮する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画すると共に、適切な断面寸法の部材を配置する。
 - 設備機器の搬出入及び更新に配慮した計画とすると共に、利用者昇降機・サービス昇降機を各1基合計2基設ける。
 - 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、所定の防火設備を適切に計画する。また、防火区画(面積区画・堅穴区画)が必要な部分には、所定の防火設備を用いて適切に区画する。なお、本建築物は、「避難上の安全の検証」を行わないものとする。
 - 地上に通ずる2以上の直通階段を適切に計画する。また、必要に応じて、「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。

II. 要求図書

【答案用紙 I】の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。なお各図面には、必要に応じて計画し留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図 兼 配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)ロ.室名等 ハ.設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シヤフト(EPS)〕の位置 ニ.設備計画に応じた設備スペース ホ.断面図の切断位置 ヘ.要求室の床面積、特記事項の室、スペース、什器等 ト.建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置及び防火設備、防火区画に用いる防火設備 ② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口(▲で表示)、通用口等(△で表示) ロ.駐車場・駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ハ.敷地内の避難上必要な通路(ある場合のみ)の経路と幅 ニ.通路、植栽等 ホ.地下1階の範囲 ③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ ④3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ
(3)断面図 1/200	① 切断位置は、エントランスホールの吹抜け部分を含み建築物全体の構成がわかる位置とする。なお水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 建築物の最高の高さ、階高、天井高、1階床高、基礎底盤及び主要な室名を記入する。 ③ 梁、壁、基礎、スラブの断面を図示する。 ④ 延焼の恐れのある部分及び、防火区画の防火設備、特定防火設備、道路斜線を図示する。

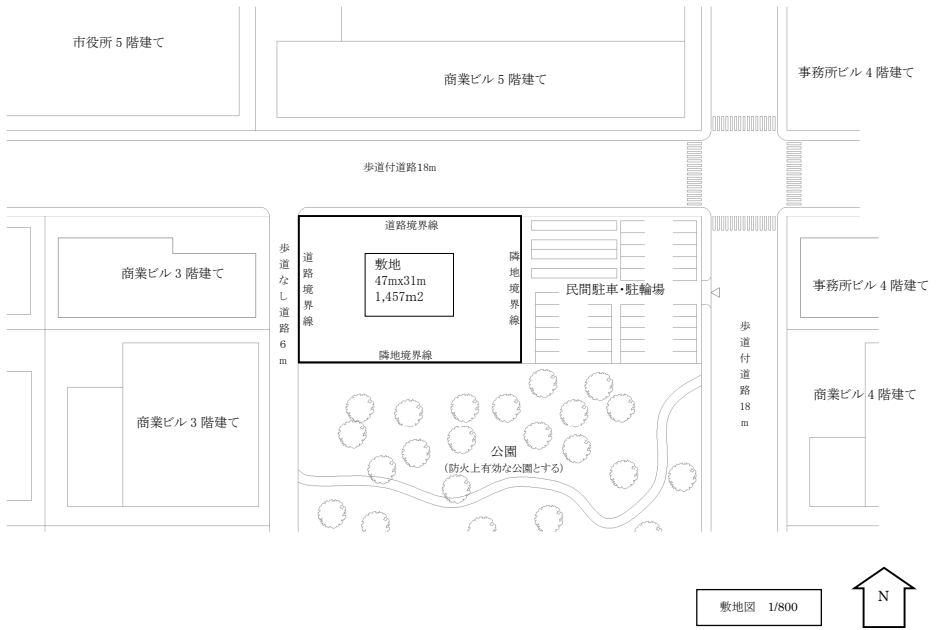
2. 面積表(答案用紙 I に記入)

- 地上1～3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率とその計算式についても記入する。

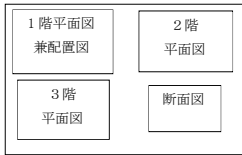
3. 計画の要点等

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

略。



5. 図面レイアウト(製図試験.com 課題指示:本試験では解答用紙 I に記載)



防火設備等の凡例

(◎、◎等の表示は、必要な箇所(外壁の開口部、断面図も含む)に全て記入すること)

【建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置(延焼ライン)と防火設備】	【防火区画に用いる防火設備の位置及び種類】
建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分(延焼ライン)と防火設備の位置(◎等)を記入し、延焼ラインを明確に図示すること。 ※注:建築物の外壁の開口部で、延焼のおそれのある部分の開口部に要求される所定の防火設備の種類を記入すること。	防火区画に用いる防火設備の位置及び種類を記入し、必要に応じて、要求される所定の防火設備の種類を記入すること。

■ 添削について

添削希望者は、図面、要点を同封して下記住所までお送り下さい。
添削費用は4,000円とします。
〆切は8月7日(月)必着。添削は約10日間程度で返却予定です。
〒554-0012 大阪市此花区西九条 2-7-8-3F 製図試験.com 事務局
送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を4つ折りして角2号封筒を使用してください。



I. 設計条件

この課題は、ある地方都市の公園北側の敷地にコミュニティ施設機能及び児童図書室を併設した図書館を計画するものである。「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に規定する「建築物移動等円滑化誘導基準」を満たす計画とする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、「敷地図」のとおりである。
- 敷地は道路及び隣地との相互間に高低差はない。公園側からのアプローチに配慮する。また歩道の切り開きは1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は90%(特定行政庁が指定した角地にある敷地及び準防火地域における耐火建築物等を含む)、容積率の限度は300%である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ち等の必要はない。
- 水害、日影及び積雪の配慮はしなくてよい。

2. 建築物

- 構造、階数等
構造形式は自由とし、地上3階地下1階建ての耐火建築物とする。
- 床面積の合計
地階を除く床面積の合計は、2,800m²以上3,200m²以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。なお、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(集会スペース、駐車場、設備スペース等)については、床面積に算入するものとする。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	面積
図書館部門	図書室	貸出カウンター、図書事務室、BDSを設ける。 この課題ではレイアウトは任意とする。*1	750m ² 以上
	児童図書室	貸出カウンター、児童図書事務室、BDSを設ける。 この課題ではレイアウトは任意とする。*2	300m ² 以上
	ブックモービル車庫	1階に設け、ブックモービル(移動図書館車)の積み込み車庫とする。 出入口にはシャッターを設ける。	約40m ²
	ブックモービル書庫	ブックモービル車庫に隣接して設ける。 サービスエレベーターとの動線に配慮する。	約20m ²
交流部門	大ホール	無柱空間とし、天井高さを3m以上とする。	約160m ²
	ホワイエ	大ホール用に設ける。	適宜
	ワークルーム1/2	児童図書室のイベントにも用いる。 同一面積の室を2室設ける。	計120m ² 以上
	会議室ABCD	60m ² 以上の会議室ABCDを設ける。	計280m ² 以上
	エントランスホール	風除室を設ける。 ラウンジ(20m ² 以上)を設ける。 3層吹抜け(面積適宜)及びトップライト(3m ² 以上)を設ける。	適宜
	レストラン	厨房、客席を設ける。客席から使えるデッキスペースを設ける。 公園からのアプローチを設ける。	約100m ²
	事務室	8m ² /人程度とし7人程度が利用する。 エントランスホールに面して案内カウンターを設ける。	適宜
	便所	・男、女、多機能トイレ(オストメイト対応)を各階に設け便器、洗面等をレイアウトする。	
設備スペース	・必要に応じて室外機、電気設備を設置する。 ・機器のメンテナンスに配慮した配置とする。 ・その他、採用した設備計画に応じて計画する。		

・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。
*1:開架書架、テーブル、椅子、キャレル、ブラウジングコーナー、レファレンスコーナー等
*2:開架書架、テーブル、イス、読み聞かせコーナー、展示コーナー等

3. その他の施設等

- 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として1台分以上、一般利用者用として1台、管理・サービス用として1台分以上合計3台分以上を設ける。
- レストランから利用できるデッキスペース(面積25m²以上としひさし下部は含んでよい)を設ける。
- 駐輪場は1台2.0mx0.5m程度とし、30台分以上を設ける。

4. 留意事項

- 建築計画、構造計画及び設備計画については、次の点に留意して計画する。
- 建築物はバリアフリー、セキュリティ、省エネルギー、二酸化炭素排出削減に配慮する。
 - 利用者の当該敷地へのアプローチは、利用者の利便性に配慮する。また各部門は利用形態に応じて適切に計画する。
 - 敷地条件(方位等)や周辺環境に配慮するとともに、空調負荷の抑制や自然光の利用、日射遮蔽及び通風等を用いて、建築環境負荷低減に配慮する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画すると共に、適切な断面寸法の部材を配置する。
 - 設備機器の搬出入及び更新に配慮した計画とすると共に、利用者用昇降機・サービス用昇降機を各1基合計2基設ける。
 - 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、所定の防火設備を適切に計画する。また、防火区画(面積区画・堅穴区画)が必要な部分には、所定の防火設備を用いて適切に区画する。なお、本建築物は、「避難上の安全の検証」を行わないものとする。
 - 地上に通ずる2以上の直通階段を適切に計画する。また、必要に応じて、「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。

II. 要求図書

答案用紙Iの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Iに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。なお各図面には、必要に応じて計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ.室名等 ハ.設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ニ.設備計画に応じた設備スペース ホ.断面図の切断位置
(2)2階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口(▲で表示)、通用口等(△で表示) ロ.駐車場・駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ハ.敷地内の避難上必要な通路(ある場合のみ)の経路と幅 ニ.通路、植栽等 ホ.地下1階の範囲
(3)3階平面図 1/200	③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ ④ 3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ
(3)断面図 1/200	① 切断位置は、エントランスホールの吹抜け部分を含み建築物全体の構成がわかる位置とする。なお水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 建築物の最高の高さ、階高、天井高、1階床高、基礎底盤及び主要な室名を記入する。 ③ 梁、壁、基礎、スラブの断面を図示する。 ④ 延焼の恐れのある部分及び、防火区画の防火設備、特定防火設備、道路斜線を図示する。

2. 面積表(答案用紙Iに記入)

(1) 地上1~3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率とその計算式についても記入する。

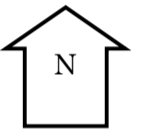
3. 計画の要点等

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

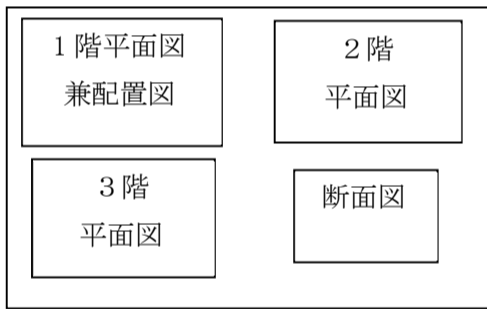
略。



敷地図 1/800



5. 図面レイアウト(製図試験.com 課題指示:本試験では解答用紙Iに記載)



防火設備等の凡例

(特、防)等の表示は、必要な箇所(外壁の開口部、断面図も含む)に全て記入すること

【建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置(延焼ライン)と防火設備】	【防火区画に用いる防火設備の位置及び種類】 防火区画(面積区画・堅穴区画)に応じて、要求される所定の防火設備の位置及び種別を記入すること	
	特定防火設備	法2-9-2ノロに規定する防火設備
建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分がある場合においては、隣地境界線又は道路中心線から延焼のおそれのある部分までの距離(m)を記入し、延焼ラインを破線で図示すること また、建築物の外壁の開口部で、延焼のおそれのある部分の開口部に要求される所定の防火設備の種別を記入すること	(特)	(防)

■ 添削について

添削希望者は、図面、要点を同封して下記住所までお送り下さい。
 添削費用は4,000円とします。
 メ切は8月7日(月)必着。添削は約10日間程度で返却予定です。
 〒554-0012 大阪市此花区西九条 2-7-8-3F 製図試験.com 事務局
 送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を4つ折りして角2号封筒を使用してください。

